

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I.理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人理念である「共に笑い共に生きる」のもとに事業所理念「私たちはその人を知り 今を そしてこれからの生活を大切にします」を掲げ会議で定期的に共有している。また玄関に掲示し面会に来られた家族や外部の方にも知っていただく。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	粒江地区防犯パトロールを毎週水曜日に粒江小学校の一斉下校や GH 前の道を下校する小学生の安全パトロールを実施している。また認知症カフェに月 1 回入居者とともに参加し、地域の方や専門職の講話を聴き地域の方とふれあう機会を設けている。チラシの挿絵は入居者が作成し好評いただけている。	浮洲園主催のグラウンドゴルフで地域の方にうきすの里の取り組みや入居者の様子を伝える事で身近なものに感じてもらえたエピソードを会議で紹介した。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	2 か月に 1 回開催している。活動の様子を写真や動画のスライドショーで報告する事で、活動時の入居者の様子をより具体的に伝えられるよう工夫している。また参加者からも施設運営や地域行事等の具体的な助言提案がある。	人生会議(ACP)やエンディングノートについて等、最新の情報を知れて大変勉強になり有意義な時間を過ごせているとの意見をいただいた。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人内に地域包括支援センターがあり、運営推進会議へも毎回参加あり。市の担当者とは質問や疑問点の確認の連絡を取っている。	参加者がそれぞれの立場で取り組みを報告し合い、情報の共有ができています。また勉強会や施設の取り組みを伝える事で地域貢献にもなると考えています。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、 玄関の施錠 を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束に関する勉強会を定期開催している。勉強会内容を工夫する事でパート職員も含め全員が正しい知識を理解し、実践できるよう努めている。身体拘束適正化委員会を設置し定期的に開催、議論し身体拘束が		Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	全職員を対象に定期的な勉強会を実施し、身体拘束に関する正しい理解と実践の定着を図っておられる点は評価できると思います。身体拘束適正化委員会による継続的な確認も行われており、組織的に身体拘束ゼロのケアを推進する姿勢が窺えます。評価項目の玄関施錠に

				ない適切ケアが行われているか確認している。			ついて、何等かの対応がなされていれば確認させて下さい。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	虐待に関する勉強会を定期開催している。虐待防止委員会を設置し定期的に開催、議論し虐待がない適切なケアが行われているか確認している。また日頃から新聞、ニュースで取り上げられた記事を全職員で周知し日頃のケア振り返る機会を設けている。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的な勉強会や虐待防止委員会の開催により、全職員が虐待防止の意識を持ち、継続的な取り組みを行っておられる点は評価できると思います。社会的事例を共有し日々のケアを振り返る取り組みも実践的であり、意識向上に寄与していると感じます。不適切なケアは些細なことで現れます。不適切ケアが起こりにくい職場環境づくりにも努めて頂けたらと思います。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	成年後見制度を利用されている入居者もおられ、制度の勉強会等で知識の習得が全職員でできるようにする。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	重要事項説明は原則として契約前に十分に説明を行い、納得いただいた上で契約している。内容に変更があった場合は、その都度家族会で説明したり、定期的に内容の振り返りの場がある。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族会開催時や運営推進会議、面会時に具体的要望や本音を聞く機会がある。書面としても意見をいただいている。またご指摘や不満足 of 表明があれば些細な事でも苦情簿を作成し職員に周知し今後に生かす取り組みをしている。		A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	多様な場面で利用者・家族の意見を聞き取り、苦情簿を通じて共有・改善に努めておられる点は評価できると思います。今後も、意見への対応や改善結果を丁寧にフィードバックする体制を強化させ、より透明性の高い運営を目指されてはいかがでしょうか。

10	運営に関する職員 意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員 の意見や提案を聞く機会を設け、反映さ せている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	月1回の職員会議、ミーティングに は管理者も出席し、チームで意見を出し 合い現場の声を反映しやすい環境を整 えている。会議以外でもメールや申し送 り、面談等で問題解決にあたり検討し ていく体制が出来ている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や 実績、勤務状況を把握し、給与水準、労 働時間、やりがいなど、各自が向上心 を持って働けるよう職場環境・条件の整 備に努めている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自己評価シートや面談を通じ職員の 思いや悩みを確認する機会を設けてい る。また評価シートやキャリアパスシ ートの見直しを定期的に行っている。		A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員面談や自己評価シートを通じて職 員の思いを把握し、制度の見直しを行 っておられる点は評価できると思います。 今後も、より働きがいのある職場環境 づくりに努めて頂けたらと思います。
12	職員を育てる取 組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケ アの実際と力量を把握し、法人内外の研 修を受ける機会の確保や、働きながらト レーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	園内研修や研修教材(DM スタディ)を 利用した研修計画を設けている。個 のレベルアップと同時に人材育成に 力を入れ職員会議や面談等で指導 力の部分を養う場を設けている。		A. 充分にできている B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	園内研修や教材を活用した学習機会が 設けられており、職員育成への意識が 窺えます。「あまりできていない」と自 己評価された理由や今後の取り組みにつ いてのお考えがあれば確認させて下さ い。
13	同業者との交流を 通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交 流する機会を作り、ネットワークづくり や勉強会、相互訪問等の活動を通じて、 サービスの質を向上させていく取組みを している	A. 充分にできている B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	他事業所の運営推進会議や認知症 カフェへの参加等で同業者の方と意 見交換できる場がある。一部職員の みならず多くの職員が関われる場 を設ける。同法人の他部署職員とも 連携、ネットワーク作りが出来てい る。			
14	本人と共に過ごし 支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場に おらず、暮らしを共にする者同士の関 係を築いている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常生活全般の家事等を入居者と 共に実施する事を大切にして、法人 理念である「共に笑い共に生きる」の 実現を目指している。			
15	馴染みの人や場と の関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの 人や場所との関係が途切れないよう、支 援に努めている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族やご友人がいつでも面会でき る場の提供をし、面会や行事への積 極的参加をお願いしている。また外 出支援や買い物支援等、今までの生 活の継続を大切にしている。	好きな食べ物や興味があつた活動を ご家族に聞いて実践している事を報告 する。		

Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的に意向を伺い、本人や家族の望む生活を把握しケアプランに反映し支援に繋げている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ミーティングや家族との懇談内容を基に解決すべき課題についてカンファレンス会議で検討し、担当職員等の意見、意向も取り入れケアプランを作成している。	ご家族からご自宅での生活や興味がある事を聞き、モニタリングした事例の紹介をする。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人・家族の意見を踏まえ、カンファレンスで多職種の意見を反映したケアプラン作成が行われている点は評価できると思います。今後は、モニタリング結果をより具体的に計画へ反映し、継続的な質の向上を目指して頂けたらと思います。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	記録システムの導入とともに気づきや普段と異なることを書き込み、職員間で共有しケアに繋げる。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	記録システムを活用し、気づきや変化を共有してケアに生かしておられる点は評価できると思います。共有した結果、BPSD が改善された事例などがあれば記録を蓄積し、今後のケアに活かして頂けたらと思います。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	併設の特養の見学会をしたり、日々の入居者のご様子を写真、動画付きでお伝えしたり今、そしてこれからの支援を伝える。また主治医や併設する特養とも連携を図り協力体制を整えている。	LINE を通じて行事ごとにタイムリーに写真や動画で状況を伝えて下さり大変感謝しているとの言葉をいただく。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議を活用し地域の行事を把握したり、防犯パトロールを通じて地域の子どもらと関わったり、入居者が楽しみながら生活できる機会を設ける。	防犯パトロール等も大変だが、出来る範囲で無理なく継続してもらいたい。地域包括支援センターが法人内にあるという強みを生かし有効活用して欲しい。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時に希望するかかりつけ医について必ず確認している。往診対応できめ細かい医療との連携が図れている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院時に情報提供を速やかに行い、入院中も病院と連絡を密にし早期退院、入院中のレベル低下防止に繋げている。また協力医療機関にも定期的に出向き日頃から連携を図り備えている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入退院時の迅速な情報共有と医療機関との連携体制が整っており、早期退院や機能低下防止への意識が高いことが窺えます。今後も安心して入院治療ができるよう、医療機関との連携体制を標準

							化し、職員全体で共有して頂けたらと思います。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ACP(アドバンス ケア プランニング)の議論をしたり、ご家族間でも話し合いの機会を設けるよう呼び掛けしている。年 1 回「急変時についての事前調査書」にて家族の気持ちを確認している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ACP を取り入れた話し合いや事前調査を通じ、家族の意向を確認している点は評価できると思います。今後は、早い段階から本人の意思決定支援にも取り組んで頂けたらと思います。今後はチーム支援の在り方についても検討して頂ければと思います。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	各種緊急時対応に関するマニュアルを作成しており、平素より目を通し、不測の事態に備えるよう周知している。夜間等、少人数で判断のつかない場合も管理者や看護師、主治医へ連絡する事で、チームで対応する体制を整えている。AED の使用法、緊急時の対応等を全職員に動画視聴の勉強会をし急変時の対応に備えている。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年 2 回の火災時避難訓練に加え、過去に 3 回周辺道路が冠水する事があり、車イスを使用し福祉避難場である隣接する特養 2 階以上への水害時避難訓練を実施している。また倉敷市の合同避難訓練への参加もして防災意識を高めている。	全体的に防災意識は高まっているが、自施設の理解にとどまり、市や地域の動きを把握しておらず、単独で動いている為、連携面において課題がある。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的な訓練の実施により、職員の対応力は育成されており、災害時にも生かせる基盤ができておられます。今後は、地域との連携も視野に入れ、より具体的な災害対応体制の充実に取り組んで頂けたらと思います。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の介護の中で、言葉づかいや認知症の方の立場に立った声掛けに努め、職員間でも互いに評価、指摘し合い高めている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その方の立場に立った声かけや対応を職員間で高め合う取り組みをしておられる点は評価できると思います。認知症の方という視点ではなく、個性豊かな一人の方という視点で、個別ケアの実践に取り組んで頂けたらと思います。

27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	画一的に活動への参加を強かず、本人の意向を尊重しやりたい事や過ごす場所の選択機会が常にある。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事、おやつ作りを生活やリハビリの中心と考え、入居者個々に役割として担ってもらっている。季節の食材やメニューに触れ、おやつや誕生日メニューはリクエストに応え、寿司や天ぷら、洋食を提供しており食事が楽しい時間となっている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者が役割として食事の準備や片付け、おやつ作り等に参加している様子を運営推進会議で報告して下さり、食事やおやつが楽しいひと時となるよう取り組んでおられる様子が窺えます。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	同法人管理栄養士や主治医と連携を図り入居者個々に合わせた食事量や食事形態を調整している。1日の水分摂取量もこまめに提供する事で確保できている。毎月の栄養会議の中で熱中症対策や食中毒予防等を検討し日々のケアに生かしている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	協力歯科医院からの指導や助言を活かし、毎食後の口腔ケアや用具の点検消毒等を実施している。訪問診療契約者は専門職からの的確な指導・ケアを受けて口腔内の清潔維持が出来ている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	歯科指導を活かした毎食後の口腔ケアと用具管理が行われており、入居者の口腔衛生保持に配慮がなされていることが窺えます。訪問診療契約者以外の入居者に対しても出来る限り専門的な見地からの口腔ケアの方針が確認できると良いと思います。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ミーティングや職員会議等で現状の排泄方法や使用介護用品の見直しを随時行い、最適な対応を検討、実施していくよう職員が常に情報共有できている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員間で排泄状況や介護用品の使用状況を共有し、個々の力や習慣に応じた自立支援や便秘予防に取り組んでおられる点は評価できると思います。今後も、記録や検討結果をさらに計画に反映させ、支援の質向上につなげて頂けたらと思います。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	週3回程度の入浴が出来るよう調整し、できるだけ時間も希望に沿った対応をし、休浴日でも必要に応じ足			

				浴、清拭を実施し清潔保持支援している。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者の生活リズムに合わせて日中の臥床時間も設けメリハリある生活の配慮をしている。日中の活動量を増やし夜間の安眠に繋げる生活支援をしている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	常に目にできるよう薬情報をファイリングし適切な服薬支援をしている。日々の生活記録をしっかり記入する事で主治医への報告を確実にし、内服薬を調整している。特に追加、中止した際は密に情報共有している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	薬情報の整理・共有を徹底し、日々の生活記録や医師への報告を通じて適切な服薬支援が行われている点は評価できると思います。引き続き、入居者一人ひとりの疾患や現在の状態を把握し服薬をサポートして頂けたらと思います。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活歴、趣味趣向に応じた個別レクや家事作業を提供している。また新たな役割や楽しみも生活の中で見つけ実施している。書道やイラスト画の作成等、定期的を実施する入居者も多く、毎年1月に書道展への出展も行い、賞状や表彰が励みになっている。	他者と関わるというのは入居者にとっても刺激ある生活だが、高齢者と子どもが接する事も子どもらの成長過程において大変重要な機会である。高齢者の経験や知識を十分発揮できる支援をしてもらいたい。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個別で使用する文房具や日用品の購入等も個別外出や全員で行く花見、海の見える場所等の外出等、日常的に外出支援が出来ており、入居者、ご家族から大変喜ばれている。また認知症カフェや防犯パトロール等の地域の行事にも入居者が順番に参加し関わりを楽しまれている。	様々な場所への外出を家族の方は感謝していただいている。ご家族も一緒にできる機会を設けている事についても喜ばれている。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎週土曜日に移動販売車を利用し、入居者一人一人が好みのお菓子や果物を自ら選び購入する機会がある。また個別に必要な物の購入に職員付き添いの下、近所のスーパーや文具店に外出する機会も適宜設けている。			

38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族からの電話や LINE で、つながいで欲しいとのご依頼があれば可能な限り繋いで会話したり、LINE 上での動画、写真のやり取りを見てもらい、双方が安心できる支援をしている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	小規模な入居施設であるため、閉塞感を感じさせないようにリビングには吹き抜けや天窓を設置し、視覚的に圧迫感がないようなハードになっている。季節の野菜を作ったり、草花を飾ったり、生活感のある環境作りをしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	吹き抜けや天窓により圧迫感のない共用空間を確保し、季節の野菜や草花を取り入れるなど、生活感や季節感に配慮した居心地の良い環境づくりがなされている点は評価できると思います。今後も入居者の視点で快適性や安全性の工夫を継続して頂けたらと思います。
IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食べたい物や行きたい場所等を日々の会話の中から見つけ、反映できるよう職員間で共有、実施している。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居前の事前情報に加え、入居後の関わりの中で興味がある事、楽しみにしている事等を見つけ、提供する事で支援の幅を広げる。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	主治医と連携を図り細かい情報共有や現状の健康状態を把握し、日々のケアに繋げている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	主治医との連携を通じて健康状態や日々の状況を把握し、本人の希望や状態に応じたケアにつなげておられる点は評価できると思います。今後も情報共有を継続し、本人主体の暮らしをさらに支える取り組みをして頂けたらと思います。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	1 日の大まかな目安の生活時間はあるが、今までの生活習慣、現状の体調面を考慮し、個々のペースで生活していただく支援をしている。			

44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近（自室等）に持つことができている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族写真や夫の位牌、昔から可愛がっているぬいぐるみ等、個々の思い出の物を継続して大切にする環境作りをしている。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族写真や位牌、思い出の品など、入居者が大切にしている物を身近に置ける環境を整えており、生活の継続性や安心感が確保されておられる点は評価できると思います。今後も個々の思いを尊重した環境づくりを継続して頂けたらと思います。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催（祭）事に参加することができている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	行事や外出に無理強いして参加を促すのではなく、参加したい、行きたいと思ってもらえるような声かけ、準備を行い、参加後も楽しかったと感じてもらえる機会を増やす。	季節の行事を計画し、四季に合わせた外出を起案時から呼びかけ、入居者のしたい事、食べたい物等の要望を取り入れた行事の実施をしている。		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の家事作業やレクに個別で参加の声掛けをし、それぞれの可能な範囲で取り組んでもらえている。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	フロアでは他入居者との関わりを大切にし、居室では一人のゆっくりする時間を大切にしており、メリハリある生活が送れている。		A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	他入居者との交流と個人のゆったりした時間の両方を尊重し、入居者がメリハリのある生活を送ることができている点は評価できると思います。今後も本人の希望や状況に応じた活動機会の工夫を継続して頂けたらと思います。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	認知症カフェへの参加や防犯パトロールへの参加等を通じて地域と関わる機会を設けている。またボランティアや実習生とも交流し楽しくコミュニケーションが図れている。	地域の集いやボランティアの受け入れ等で多くの入居者に他者と交流できる機会を設け、生活に潤いを与えてくれているという事が運営推進会議の写真等での報告から把握できる。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	些細な変化や取り組みをしっかり報告する事で入居者、ご家族双方が安心して過ごせ、職員とも信頼関係を高め、よりよい日々を送れるように取り組んでいる。	うきすの里での取り組みや課題に感じている事を会議の場で共有し意見をいただきながら運営強化していく	☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者や家族への細やかな情報共有を通じ、安心感のある生活環境を提供するとともに、職員との信頼関係の構築にも努めておられる点は評価できると思います。今後も、日々の変化や取り組みを丁寧に把握・共有し、より良い日々を支える取り組みを継続して頂ければと思います。

(参考様式4)

事業所名 グループホームうきすの里

目標達成計画

作成日: 令和 7 年 10 月 9 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成 に要する期 間
1	12	園内研修や研修教材(DMスタディ)を利用して個々のレベルアップに向けての取り組みを行っているが、職員自らが気づき取り組む姿勢が十分ではない為、緊急時等の対応に不安が残る。	継続して園内研修や研修教材(DMスタディ)を利用して個々での学びを伸ばす事に加え、入居者に対してのケアや支援方法を常に最善のものに更新し、対応できる柔軟な考えと行動を養っていく。	研修教材を使用しての研修や各種マニュアルの確認は定期的に行っているが、緊急時の対応であったり、感染症対応であったりが定着できていない事がある為、学んだことをアウトプットするトレーニングをし身につけていく。	12ヶ月
2	25	災害対策として法人内での対策や訓練は実施できており、防災意識も高まっているが、地域との連携や協力体制の構築には不十分である。	法人内、部署内での災害対策、訓練を継続していくとともに地域との連携や取り組みを把握し実効性のある協力体制の構築を目指す。	昼夜問わず災害時の職員個々の動きや連携について日頃の業務から意識して取り組む。また会議の場でうきすの里の取り組みの発信、他部署や地域の動きも把握し、より具体的な協力体制や連携強化を構築する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。